

平成二十七年 城下町「からつ」俳句コンクール作品選

選者 日本伝統俳句協会評議員

唐津観光俳句会長 田邊虹志 選

特選一句

陣中の大釜底の錆祖春 そしゆん

福岡県 池原富子

入選三句

つばめ来る海盤石に大天守

千葉県 福井孝 たか

虹の松原うす絹被き夏霞

千葉県 大河原倫子 ともこ

笛太鼓ひびく唐津の秋高し

兵庫県 高橋宣子

佳作十六句

太閤の愛でし桜や松ノ浦

福岡県 竹下為章

桜散る松原望む唐津城

福岡県 上木戸孝

薰風を独り占めして唐津城 くんぷう

福岡県 宮原雄峰 ゆうほう

郷愁をそそる曳山の音祭笛 やま

佐賀県 大久保花舟 かしゆう

藤房の風さやぐ時香も揺れる とうぼう

佐賀県 西尾京子

囀に攻め囲まるる天守閣 さえずり

佐賀県 古川唐水 とうすい

弓なりの浜に白波夏の風

神奈川県 尾崎多佳子 たかこ

浜風に古都の薫を醸す城 かも

福岡県 出水翔士 しょうじ

秋風や浜の香りに窓煙 じり

大阪府 瀬戸順治

玄海の海霧よりいづるフェリーかな

佐賀県 長谷いつ子

赤とんぼ我と吹かれて城に立つ りよくいん

千葉県 三浦好博

緑蔭を抜けて展げる唐津城 ひら

兵庫県 中村麦芽子 ばくがし

小春日の路地裏に立つ窓煙

神奈川県 中川雄策

灘風ぎてからつの城の冬ぬくし

三重県 小林隆子

佐用姫の布振りし山粧けり ひれ

佐賀県 古川吉彦

太閤の望みし海や鳥渡る

愛知県 水谷保子